

ジヤツクの塔

横浜市開港記念会館100周年記念誌

—横浜市開港記念会館—

100年物語

表紙写真／森日出夫（一部加工あり）

1ページ扉および目次写真／『開港記念横浜会館図譜』（大正6年、清水組横浜支店 掲載）

40 開港記念横浜会館の誕生、
そして震災からの復興

文◎青木祐介

コンペ（設計競技）の実施

建築家 山田七五郎の登場

赤煉瓦の開港記念横浜会館

関東大震災と赤煉瓦

そして復興へ

52 和田英作の壁画 文◎手塚恵美子

4 刊行に寄せて

横浜市市長 林文字

横浜市会議長 松本研

5 刊行にあたって

中区制90周年・開港記念会館100周年記念事業実行委員会委員長 平山正晴

横浜市中区長 竹前大

6 開港記念会館の地は

横浜商工会議所の原点です

横浜商工会議所会頭 上野孝

62 空襲、接收、返還と

波乱の時代

文◎羽田博昭

再建後、多目的に利用

戦時下の公会堂利用

5月29日、横浜大空襲

敗戦、そして接收

返還後の存廃論

74 光が甦った——ステンドグラスの修復—— 文◎平山健雄

8 記念座談会

歴史的建造物のあるまちづくり

五味文彦（横浜市ふるさと歴史財団理事長）

吉田鋼市（横浜国立大学名誉教授）

陣内秀信（法政大学教授）

14 横浜の顔 開港記念会館と私

（市民から寄せられたお便りなどから）

22 開港記念会館と 横浜三塔の日

文◎山本博士

24 貿易商人とともに歩んだ

本町の町並み

文◎西川武臣

幕末～明治10年代の本町

石川屋の開店と岡倉天心

町会所の歴史と横浜会館の建設

横浜会館の焼失

開港記念会館の建設に向けて

36 町会所を舞台にして 文◎平野正

「佳花芳草縦覧会」「詩歌連俳 大日本書画集会」

「生糸繭共進会」「憲法を迎える」

76 横浜のライトアップはジャックの塔から始まった

文◎網河功

78 開港記念会館の屋根ドームの復元

平成元（1989）年、創建時の姿が甦った！ 文◎松田佳久

復元プロジェクト始動

職人技が随所に生きる

竣工時の意匠を継承する

横浜市のシンボルとして緑青の銅板が輝く

88 絵はがきに見る ジャックの塔ものがたり

90 開港記念会館の「謎」を追う 文◎多根雄一

94 街中で「横浜三塔のアート」を 横浜シティガイド協会

96 開港記念会館をガイドします ジャックサポーターズ

98 横浜市開港記念会館関連年表

101 中区制90周年・開港記念会館100周年記念事業協賛者

〔凡例〕

横浜市開港記念会館の名称（呼び名）はそれぞれの時代とともに変わっています。大正6年に現在の建物が建てられる前、明治22年までは「町会所」、明治23～明治28年までは「横浜貿易商組合会館」あるいは「旧町会所」、それ以降、明治39年に焼失するまでを「横浜会館」という名称で表記しました。そして大正6年に建てられた建物は「開港記念横浜会館」（横浜会館）、戦後米軍に接収された昭和20年9月～昭和33年6月に返還されるまで米軍側からは「メモリアルホール」とも呼ばれましたが、昭和33年12月に正式に「横浜市開港記念会館」（開港記念会館）となりました。